



地域とともに
ある学校づくり

鬼石連携型小中一貫校（鬼石中・鬼北小・鬼石小）

コミュニティ・スクール通信

いじめ問題教育懇談会号 令和6年12月11日 広報部



鬼石連携型小中一貫校いじめ問題解決に向けた教育懇談会 テーマ「正しいと思っていることをどう伝えるか」



やまっち



僕はやまっち。11月22日（金）に鬼石中体育館で行われた「鬼石連携型小中一貫校いじめ問題解決に向けた教育懇談会」の様子を紹介するっち。懇談会には教育委員会の方々、区長会、民生児童委員、PTA等地域の皆さんや三校の教職員が参加したっち。また、鬼石中の全校生徒や鬼石小・鬼石北小の6年生も参加したっち。教育懇談会の話し合いに大人だけでなく小中学生も参加したのは、市内では鬼石連携型小中一貫校だけだっち。

今回のテーマは「正しいと思っていることをどう伝えるか」。大人と子どもが全部で21の班に分かれて意見交流をしたっち。くわしい内容は下を見てほしいっち。



たくさんの皆様に参加いただきました



班に分かれて真剣に熟議です



大人と子供で意見を出し合います



ビデオ「正義の注意がいじめにつながる」を視聴した後、自分が正しいと思ったことを相手がいやな気持ちにならないように伝えるには、どうしたらよいか、じっくり話し合ったっち。

<テーマについて>

自分が正しいと思ったことでも、伝え方によって相手を傷つけたり、相手を必要以上に追いこんでしまったりすることがあります。自分が正しいと思ったことを相手がいやな気持ちにならないように伝える方法について、熟議を行うことで、相手の立場や気持ちに配慮して接する心情を育むことをねらっています。

相手に伝える時、大切なことは何？を班ごとに話し合ったっち。小・中学生が熱心に自分の考えを述べていたのが印象に残っているっち。

<各班での話し合い>

☆各班で話し合い、「相手に伝える時に大切なこと」をこれからの行動目標としてまとめました。一部ですが紹介します。

- 「相手の気持ちを考えて、具体的に言いたいことを優しく伝える。」
- 「笑顔で優しい声や言葉で相手の気持ちを考えて伝える。」
- 「自分の気持ちを伝えつつ、相手の立場を考慮して、傷つけない言葉をかけよう。」
- 「相手に伝える前に、一度考えてから優しい言葉で伝える。」
- 「意見を聞いてから、優しい口調でよく考えてから伝える。」
- 「相手が納得できるような意見にするために、相手に寄り添って、意見を優しく伝える。」

共通しているのは、「相手」「気持ち」「優しく」「笑顔」などです。共通していることを意識しながら、これからの生活をしていけるといいですね。

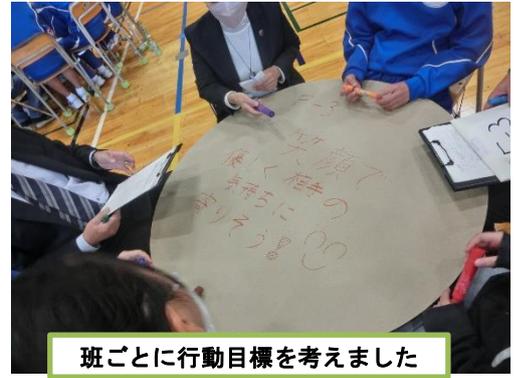


どのように伝えたらいいのだろう？

いじめ問題の解決に向けて 今後、 地域としてできることは？

〈参加者の感想から〉

- 今回小中学生といじめ問題について一緒に考えたり、ふれあえたりすることができ、とても有意義で楽しかった。みんなでいろいろと考えたことで、相手の気持ちを考えるようになって、少しでもいじめがなくなればと思う。(地域の方)
- いろいろな年代の方を交えて話し合いができることにすばらしさを感じた。子供たちがいじめについて考えるよい機会だったと思う。人の気持ちを理解し、自分だったらと思いながら行動できれば、いじめにつながることは少なくなる気がする。(保護者)
- 初めましての人たちと意見交流するのは気まずいけど、貴重な時間だと思った。テーマが難しい内容だったけど、いろいろな人の考えを聞いてよかった。今度から実践してみようと思った。(中学生)
- 自分は正しいと思って言っても、相手によっては感じ方が違うことを知った。これからは、話し合いで知ったことを気を付けたい。(小学生)
- 児童生徒の実態に合ったテーマをみんなが膝を寄せ合って意見交流ができ、鬼石一貫校ならではの取組として有意義な機会だったと思う。(教職員)



班ごとに行動目標を考えました



それぞれの班の行動目標を発表しました



全体で行動目標を共有しました

第4回学校運営協議会11月28日(木)



教育懇談会の振り返りをしました



成果と課題について熟議しました



次回以降はどうしていこうか？

11月28日(木)に第4回学校運営協議会が鬼石中で行われました。11月22日(金)に行われた「鬼石連携型小中一貫校いじめ問題解決に向けた教育懇談会」の振り返りの熟議が中心となりました。成果と課題をじっくり話し合いました。「地域住民として、小中学生と交流できたのはよかった」「小学生もだが、中学生がとても積極的に意見を述べていた」「進行役が先生だったので、話し合いがスムーズだった」「真剣に考えて疲れたが、おもしろかった」「今回のような開催形態だと、大人としてどんなことができるか？という議論が難しいかもしれない」「いじめ問題解決に向けて、家庭や地域では、どのような取組をしていくとよいかという形になればよい」など、たくさんの意見が出されました。次回以降の「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」をさらによりよくしていくために、学校運営協議会で引き続き考えていきたいです。